

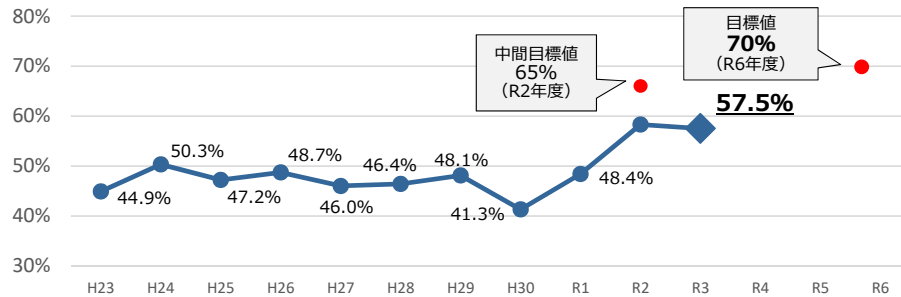
1) ユニバーサル都市・福岡推進協議会の設置目的

みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現を目指し、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もが住みやすく、過ごしやすい街づくりの推進を図ること

2) 成果指標（第3実施計画（政策推進プラン）より）

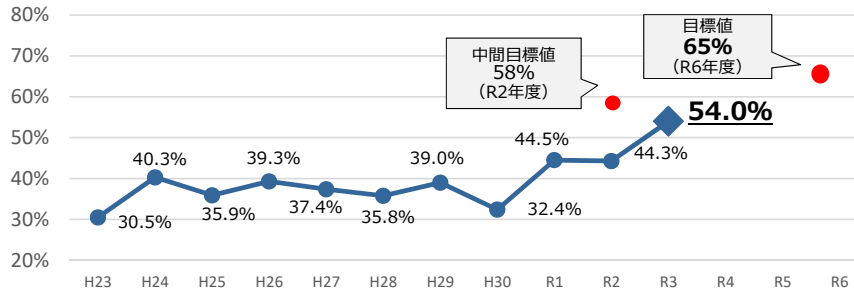
(1) ユニバーサルデザインの概念の理解度

（ユニバーサルデザインという言葉の意味を知っている市民の割合）



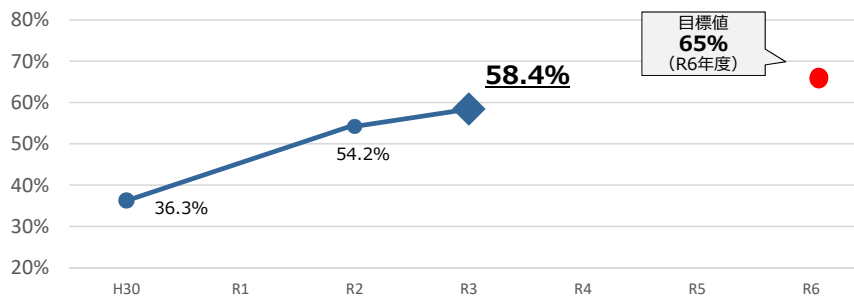
(2) ユニバーサルデザインの実践への評価

（ユニバーサルデザインの実践が進んでいると思う市民の割合）



(3) 「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度

（「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークを見たことがある市民の割合）

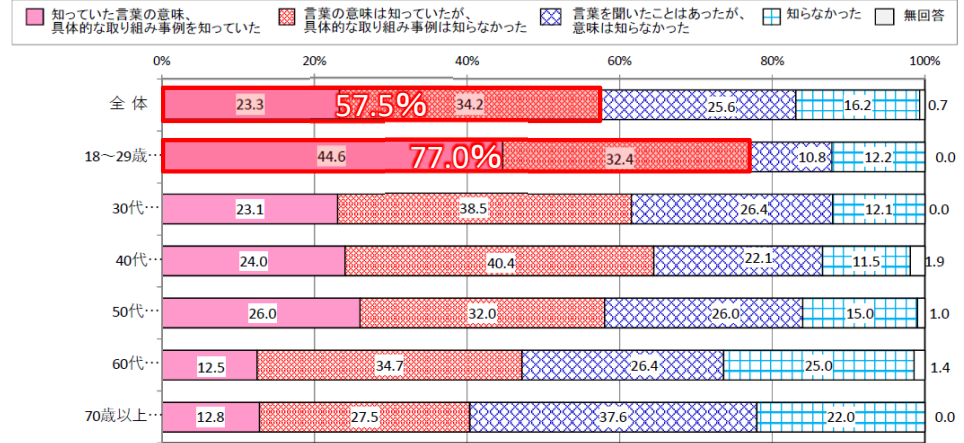


<参考> 令和3年度市政アンケート調査結果報告より抜粋

「ユニバーサル都市・福岡」について (N=550)

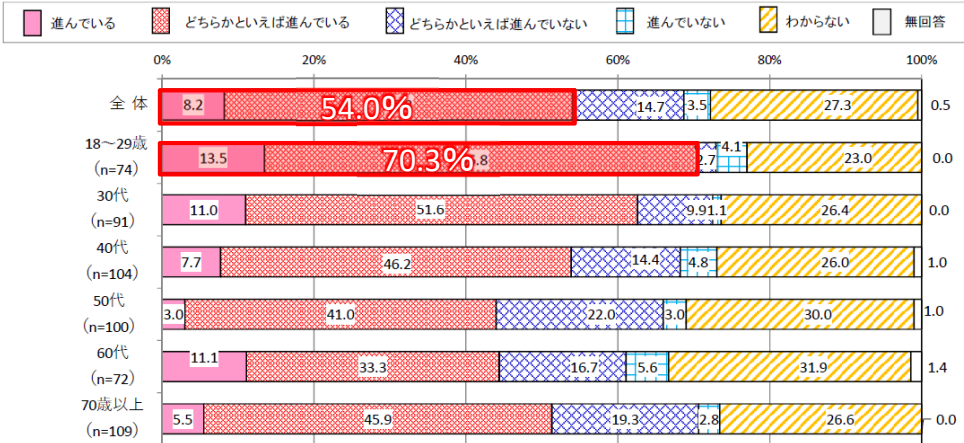
R3年度

「ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか」



『知っていた』と回答した方は全体の57.5%でした。年代別に見ると18～29歳で最も高く、77.0%となりました。

「福岡市はユニバーサルデザインの実践が進んでいると思うか」



『進んでいる』と回答した方は全体の54.0%で、令和2年度から9.7%高くなっています。

子どもの貧困の連鎖を断つ

★子ども習い事応援事業【297,122】(こども)

生活保護世帯または児童扶養手当受給世帯の
小学5年生～中学3年生の習い事に係る費用を助成



★ヤングケアラー相談支援事業【35,197】(こども)

ヤングケアラーへの支援のため、コーディネーターによる相談支援のほか、
育児支援ヘルパー派遣、関係機関職員への研修等を実施

☆ひとり親家庭自立支援給付金事業【195,210】(こども)

資格取得を目指すひとり親への給付金について、
3人以上の子を持つ非課税世帯に加算を実施

☆子どもの食と居場所づくり支援事業【6,120】(こども)

子ども食堂を行う団体の活動助成に、学習支援に係る費用助成を追加

サポートを必要とする子どもたちのために

★聴覚障がいのある児童生徒への補助装置の導入【7,830】(教委)

補聴器を使用する児童生徒が在籍する小・中学校へ、聴こえを補う装置を導入

☆小・中学校における医療的ケア支援【89,186】(教委)

医療的ケア支援体制を充実させるため、小・中学校の学校看護師を増員

☆スクールソーシャルワーカー活用事業【311,057】(教委)

スクールソーシャルワーカーを増員し、相談体制を強化

★児童虐待防止のための相談支援の充実【72,216】(こども)

児童生徒1人1台端末を活用した相談支援や、
児童相談所における全国一元的なSNS相談の導入

★子どもの権利サポート事業【10,000】(こども)

児童養護施設等で暮らしている子どもの意見表明を支援し、権利擁護を推進

☆子どもショートステイ事業【49,182】(こども)

ショートステイ専用棟の定員拡大及び里親ショートステイの全市拡大

☆里親養育包括支援(フォスタリング)事業【38,963】(こども)

里親ショートステイに係る調整、里親の開拓及び里親養育の包括的な支援

☆若者の相談支援体制強化【41,431】(こども)

若者総合相談センターを設置し、関係機関や民間団体との連携による支援強化

安心して生み育てられる環境づくり

☆子宮頸がん予防ワクチン接種【1,230,754】(保健)

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種の積極的勧奨の再開、
積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種を実施

☆妊婦健診【170,149】(こども)

超音波検査及び多胎妊婦に対する費用助成の拡充、分娩前PCR検査の実施

☆産後サポート事業【6,548】(こども)

授乳・沐浴のアドバイス等を行う産後ケア事業に居宅訪問型を追加



★乳幼児健診情報のデジタル化【24,960】(こども)

保護者の利便性向上と関係機関の即時情報共有を図るためのシステムを開発

★ひとり親家庭向け情報ナビ事業【16,150】(こども)

ひとり親家庭向けの情報を集約したサイトを作成し、情報発信を強化

★子どもの発達支援体制のあり方検討経費【30,769】(こども)

未就学の障がい児に対する適切な支援体制等の検討

教育環境の充実

★教育ビッグデータ活用調査検討経費【30,556】(教委)

データ駆動型教育への転換を見据え、教育データの効果的な活用に向けた
調査や分析手法の検討

★ICTを活用した教育実践事例創出事業【4,780】(教委)

児童生徒の学びの質を向上させるため、モデル校でICTを活用した
教育実践事例を創出し、全小・中学校へ展開

☆オンライン環境支援事業【156,625】(教委)

貸出し用モバイルルータ等の整備及び学習者用デジタル教科書の整備

★学校における介助アシストスーツ整備【9,200】(教委)

肢体不自由児童生徒が在籍する小・中学校及び特別支援学校へ
介助をアシストするスーツを整備

☆公立夜間中学運営費【11,059】(教委)

4月に開校する公立夜間中学の運営費

・特別支援学校校舎等施設整備【148,155】(教委)

特別支援学校(知的障がい)高等部の2校新設に向けた開校準備及び設計等



誰もが安心して暮らしやすいまち

障がいのある方が暮らしやすいまち

- ★障がい者施設工賃向上支援事業【36,004】(福祉)
工賃向上を図るため、新たな業務の開拓や各施設への受注支援等を行うセンターを新たに設置
- ★タブレット活用による障がい者サービス向上【6,603】(福祉)
手話によるオンラインでの問合せ対応や視覚・聴覚障がい者の特性に応じた窓口対応のため、各区にタブレット端末を配備
- ☆重度障がい者グループホーム受入促進事業【44,640】(福祉)
グループホームが区分4・5の強度行動障がい者を受け入れる際に必要な職員加配費用相当分を新たに補助
- ☆日中一時支援【9,835】(福祉)
日帰りでの入浴、排せつ及び食事の介護等を行う日中一時支援の対象者を拡充
- ・発達障がい者支援等施設整備事業【770,490】(福祉)
発達障がい者支援・障がい者就労支援センター(仮称)を整備
- ★インクルーシブな遊具広場整備事業【23,275】(住都)
あらゆる子どもたちが一緒に遊べる遊具広場整備の検討等
- ☆ベンチプロジェクトの推進【69,325】(道下・港空)
市管理道路における設置可能なすべてのバス停にベンチを設置
- ★アピアランスケア推進事業【8,800】(保健)
がん患者等へ医療用ウィッグや補整具等の購入費用を助成
- ★ICTを活用したひきこもり支援事業【2,932】(保健)
ひきこもり支援モデルとして、ICTを活用したリモート相談等を実施
- ☆成年後見制度利用支援事業【23,906】(福祉)
高齢者や障がい者が成年後見制度を利用する際の報酬助成の対象を拡大
- ★福祉避難所運営体制強化事業【15,512】(こども・福祉)
高齢者や障がい児・者の福祉避難所に対し、要配慮者の避難生活に必要な物資を配付
- ・認知症施策推進事業【22,778】(福祉)
認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及等
- ★Well-being及びSDGs推進事業【5,000】(総企)
働く人のWell-being(満足度や充実度など)の向上及びSDGsの達成に向けて取り組む企業等を応援する登録制度を創設



地域コミュニティの活性化

- ★町内会活動支援事業【41,034】(市民)
町内会が主体的に行う地域活性化や課題解決のための活動に係る経費の助成
- ・市民センター等施設整備【786,716】(市民・こども・経観文)
南市民センター大規模改修等にかかる工事等
- ★市民センター等Wi-Fi環境整備事業【22,357】(市民)
利便性の向上を図るため、市民センター・地域交流センターにWi-Fi環境を整備

健康づくり・介護予防の推進

- ★フレイル予防ハイリスク者支援事業【18,108】(福祉)
フレイルハイリスク者の抽出及び専門職の訪問により必要な支援へ橋渡し
- ★要介護状態改善等評価事業【8,692】(福祉)
要介護状態の改善等に取り組む介護事業所及び利用者を評価し表彰等を実施
- ☆Fitness City プロジェクト【99,765】(福祉・住都・道下)
まちの中で自然と楽しく体を動かしたくなる仕掛けを展開
- ・オーラルケア28(にいはち)プロジェクト【32,621】(保健)
予防に重点をおいた、全世代の歯と口腔の健康を守るプロジェクトを実施
- ★エビデンスに基づいた市民の健康づくり促進事業【5,319】(福祉)
データ分析結果を活用した市民の健康寿命延伸に係る取り組みを実施



新型コロナウイルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルスワクチン接種【7,010,441】(保健)
市民を対象に新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目接種)等を実施
- ・濃厚接触者等への検査事業【590,387】(保健)
PCRセンターの運営や医療機関への陽性者同居家族等の検査委託
- ・相談体制等強化事業【608,772】(保健)
新型コロナウイルス感染症相談ダイヤルや自宅療養者専用ダイヤル等の運営および、保健所への専門職派遣
- ・健康観察等フォローアップ事業【267,642】(保健)
健康フォローアップセンターの運営及び自宅療養者へのパルスオキシメーターの貸与や食料品の配布
- ・軽症患者の搬送事業【114,445】(保健)
新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅から病院や宿泊療養施設への搬送

3) 主な取組み

新規

●4コマ漫画による普及啓発【総務企画局】

- ・ユニバーサルデザインに関しての知識が無くても楽しめる4コマ漫画を用いて、関心がない市民にもわかりやすい普及啓発を実施（11月頃開始予定）



●子ども習い事応援事業【こども未来局】

- ・子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、個性や能力を伸ばし、自己肯定感を育めるよう、電子クーポンを交付し、習い事の費用を助成（7月開始）

●障がい児(小学生以下)の地下鉄利用が便利に！【交通局】

- ・交通系ICカード「小児はやかけん」の事前登録を行い利用することで、地下鉄に乗車する際に、駅係員への障がい者手帳の提示や券売機での乗車券の購入が不要になる取組みを開始（7月開始）



●インクルーシブな遊具広場【住宅都市局】

- ・あらゆる子どもがお互いの違いを理解し合い、一緒に遊べる遊具広場（インクルーシブな遊具広場）の整備に向けた検討を実施
- ・舞鶴公園においてR3年度の実証実験をアップデートして実施（7/30～11/30）
※遊具5基に加え、周囲の人工芝、見守りスペース等を設置
- ・検討委員会を開催し、議論を踏まえ、整備指針を策定（12月予定）



●ビデオ通話を利用したオンライン手話通訳の開始【福祉局・各区役所】

- ・聴覚障がいなどで日頃の会話を手話で行っている方がビデオ通話（Zoom）を使って、自宅から区役所へ問い合わせができる体制を開始（7月開始）

●視覚障がいのある方へ音声コードアプリの利用をサポート

【福祉局・各区役所】

- ・視覚障がいのある方へ、印刷物の内容を音声で読み上げるスマホアプリ「Uni-Voice」のインストールや使い方を、携帯電話事業者4社と連携し、区役所や市役所、市内の携帯ショップで説明・サポートを開始、市ホームページで解説動画も公開（8月開始）



R3～

●「ユニバーサル都市・福岡PRサポーター」による普及啓発【総務企画局】

- ・「ユニバーサル都市・福岡」のことをより多くの市民に知ってもらうために、R3年度、PRサポーターに任命したバリカタキッズが、引き続き、市内のユニバーサルな場所などを取材し、その様子を様々な広報媒体で展開



●「福岡オレンジパートナーズ」と「オレンジ人材バンク」の設立【福祉局】

- 重度障がい者等就労支援事業【福祉局】 R3.10開始 ともにR3.6設立

●全区役所に「ご遺族サポート窓口」の開設【市民局】【各区役所】

- 遠隔手話通訳サービスの開始【福祉局】 R3.7開設 R3.5～ 全区で開設

●外国人支援ボランティアバンク【総務企画局】 R3.4開設

R2～

●福岡版ユニバーサルマナー検定（講座）の実施【総務企画局】

- ・高齢者や障がい者への接し方等について、市内の身近なユニバーサルデザインの事例を取り入れた福岡市オリジナルの講座を実施



●Instagram等を活用したユニバーサルデザインに関する情報発信【総務企画局】

- ・ユニバーサルデザインに関心がない市民に知ってもらうため、誰もが楽しめるAHA動画（画像が徐々に変化し、変わった箇所を見つける間違い探し動画）を作成し発信

それ以前

●ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入促進【住宅都市局】

- ・高齢者や車いす利用者、来街者など誰もが利用しやすいUDタクシーの導入費用の補助を実施

補助予定 : 102台
補助上限額 : 20万円/台
補助台数(累計) : ～R3年度281台



●ベンチプロジェクトの推進【福祉局・道路下水道局・港湾空港局】

- ・誰もが外出しやすいまちを目指し、市内全域へのベンチ設置を推進
R4年度は、市管理道路における設置可能なすべてのバス停にベンチを設置（R3年度末時点 ベンチ設置数（累計）174箇所 260基）

